

令和4年度 日本大学危機管理学部 個人研究費 研究実績報告書

所属：危機管理学部 危機管理学科
 資格：准教授
 氏名：鈴木 秀洋

<p>研究課題名</p>	<p>多様な個人（特に犯罪・災害その他被害等を抱えた者）の安全・安心を守るための法制度設計・運営のための調査研究</p>
<p>研究目的及び研究概要</p>	<p>行政が関与する様々な活動について、個人々の安全・安心のための法体系とその運用に焦点を当てて研究を進める。 研究を行政法的視点で総括するのであれば、総論（原理原則）と各論の関係性をより具体的に循環させることであり、また各論のウィングを広げることを目指している。 この行政法的視点に、危機管理の視点と、住民側（社会的弱者）側からの視点から光を当てて学問分野の再構成を行っている。 具体的には、本年度は、①特に被害遺族の方々とのヒアリングとそれを文章化すること、特に国家賠償法制度・情報公開制度の改正提言を行った。②また、児童福祉及び災害分野において法改正が続いており、その法改正の分析と効果測定を行ってきた。③さらに、平時の福祉的な取組と災害時の体制との連動について調査を続けている。</p>
<p>研究実績の概要</p> <p>研究の進捗状況・得られた成果・今後の課題・研究実績等</p>	<p>1【論文及び著書】 (1)著書 ①共著鈴木秀洋『行政法〈第4版〉』（第12章「行政事件訴訟」）弘文堂2022/4/15 (2)論文 ①鈴木秀洋「自治体福祉分野における専門性の構築と法務サポートの一考察」『自治体ガバナンスを支える法務人材・組織の実践』（日本都市センター、20220401）②鈴木秀洋「第1回 時間は当事者の気持ちを軽くしない」『議員ナビ』（第一法規（Web・20220627））③鈴木秀洋「第2回 剣太事件」『議員ナビ』（第一法規（Web・20220725））④鈴木秀洋「第3回 学校・行政対応のまずさー危機管理学・行政法学・被害者学の視点から(1)」『議員ナビ』（第一法規（Web・20220822））⑤鈴木秀洋「令和4年児童福祉法改正等で自治体現場の何が変わるのか」『自治体法務』（ぎょうせい、査読有、No.70、16-20頁、20220825）⑥鈴木秀洋「第4回 学校・行政対応のまずさー危機管理学・行政法学・被害者学の視点から(2)」『議員ナビ』（第一法規（Web・20221025））⑦鈴木秀洋「【緊急特報】裁判記録は魂の記録である」『議員ナビ』（第一法規（Web・20221201））⑧鈴木秀洋「第5回 剣太損害賠償請求訴訟ー最初の闘い・地裁判決の法的位置付け」『議員ナビ』（第一法規（Web・20221226））⑨鈴木秀洋「市区町村における子ども・家庭支援の新たな展開と課題」『教育と医学』（慶応義塾大学出版会、査読有、No.814、38-45頁、20230101）⑩鈴木秀洋「子どもの命を守るためにー剣太の生きざまと未来に遺したメッセージ【緊急特報】裁判記録は魂の記録である」『政策法務ファシリテーター』（第一法規、21-25頁、20230130）⑪鈴木秀洋「過去から未来へ 新たな発展型地域づくり手法の考察ー「街のはなし」プロジェクト」『街のはなし』（街のはなし実行委員会、別冊1-6頁、20230131）⑫鈴木秀洋「6章子どもと家族の福祉」『日本子ども資料年鑑2023』（社会福祉法人恩師財団母子愛育会愛育研究所編、20230201）⑬鈴木秀洋「第6回 剣太損害賠償請求訴訟ー第1回口頭弁論に臨む遺族の気持ち」『議員ナビ』（第一法規（Web・20230310））⑭「大川小津波裁判から学ぶべき学校防災と事後的不法行為」『子どもたちの命と生きる 大川小学校津波事故を見つめて』（信山社、164-167頁、20230311） 2【学会発表】 ①鈴木秀洋「専門職として子と親を児童虐待から救う」『第35回鹿児島県母性衛生学会総会ならびに学術集会』（20220828、鹿児島県医師会館）②鈴木秀洋（発表・パネリスト）市民から社会を変えよう：市民と専門家が協働する子ども虐待ゼロの地域づくりへ。『日本子ども虐待防止学会第27回学術集会ふくおか大会』（20221211、福岡国際会議場）③コーディネーター・指定討論者鈴木秀洋「早期親支援（0～1歳6か月まで）に参加回数を限定した安全な「親支援グループミーティング事業」の効果について」『日本子ども虐待防止学会第27回学術集会ふくおか大会』（20221211、福岡国際会議場） 3【その他（主な社会的活動・講演会等）】 (1)主な社会的活動 ①「世田谷区基本計画審議会」（副会長）②沖縄県「令和4年1月5日に里親委託解除を行った事案に関する調査委員会」（委員長）③「川崎市子どもの権利委員会」（委員長）、厚生労働省令和4年度子ども・子育て支援推進調査研究事業「警察からのいわゆる「面前DV」に係る通告の収集・分析に関する調査研究」（委員長） (2)主な講演会等 ①鈴木秀洋「男女共同参画の視点からの防災について」『令和4年度 男女共同参画の視点からの災害対応連絡会議』（20220706、栃木県）②鈴木秀洋「そのときどうする？事例から考える児童虐待対応」『虐待予防協会学術講演会』（20220827、鹿児島大学）③鈴木秀洋「子どもの虐待防止」『「地方自治と子ども施策」全国自治体シンポジウム2022明石』（20230212、明石）</p>